

多古町 『多古こども園』

(千葉県多古町)



ヒートポンプ給湯

贈呈理由

新設にあたり、省エネ・省CO₂を実現する業務用エコキュートの導入

多古町立多古こども園

多古町内の3保育所と2幼稚園を統合し、幼保一体化施設として、「多古こども園」は、2014年4月に開園した。定員410名と公立の認定こども園としては県内最大級を誇る。広い芝の園庭は、緑豊かなつくりで遊ぶ力を養い、明るく特徴的な園舎は、中央部分が円形のランチルームになっており、異なる年齢の子どもたちが一緒に過ごせる空間になっている。施設内には子育て支援センター「たこ・こどもルーム」を併設しており、一時保育、子育て相

談や子育て世代の情報提供の場として支援事業の充実を図っている。就学前の子どもたちの保育と教育環境を整え、子育て世代の支援を行うための拠点となる施設である。また、「多古こども園」は、千葉県福祉のまちづくり条例の施設基準の適合証の交付を受けた施設で、高齢者や障害者の方にも安全かつ快適な施設である。「多古こども園」は、自然冷媒を利用した高効率で環境にやさしい業務用エコキュートを導入した。業務用エコキュートでつくった60℃の湯は、夜間に4m³のタンクに貯湯され、翌日の子どもたちの沐浴などの給湯に使用される。夜間に翌日分の湯を貯めることで日中の電力ピークを抑制している。多古町の非常災害時の避難場所としての活用も視野に入れ、災害復旧の早い系統電力と災害時の貯湯槽の活用を評価し、業務用エコキュートを採用した。多古町は、「多古町地球温暖化

対策実行計画」を策定し、温室効果ガス排出量の削減目標に向けてさまざまな取り組みを行っている。役場庁舎には電気式ヒートポンプ空調機および太陽光発電設備を2010年度に導入した。今後も施設の新設や増改築時には環境配慮型の省エネルギー機器(ヒートポンプ空調・給湯などの高効率機器)の導入や太陽光発電などの自然エネルギー活用、低公害車(電気自動車、ハイブリッドカー)の導入も積極的に推進している。

多古町立多古こども園

所在地: 千葉県香取郡多古町多古2000-6

建築設計: 株千都建築設計事務所

建築施工: 鎌形建設株

蓄熱設備設計: 株千都建築設計事務所

蓄熱設備施工: 大成温調株

延床面積: 3,612m²

竣工: 2014年(新設)

■蓄熱設備概要

業務用エコキュート 15kW×2台(昭和鉄工)

貯湯槽: 4m³